

The YONEGAWA FORUM

米川つオーラム

身近で楽しめる水辺づくり

令和2年

11月29日

午後2:30～4:00

(午後2:00開場)

PROGRAM

基調講演

できることから始めよう 水辺の小さな自然再生
～魅力的なかわまちづくり～

滋賀県立大学 環境科学部 准教授 瀧健太郎氏

研究発表

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 環境フィールドワークⅡB
2回生 安田希垂良さん 屋宜詩乃さん

パネルディスカッション

～身近な米川で学び、楽しもう～

コーディネーター

・滋賀県立大学 環境科学部 講師 平岡俊一氏

パネリスト

- ・滋賀県立大学 環境科学部 准教授 瀧健太郎氏
- ・滋賀県立大学 環境科学部 准教授 和田有朗氏
- ・近江淡水生物研究所 代表 向田直人氏
- ・長浜まちづくり会社／湖北の暮らし案内所 どんどん 竹村光雄氏
- ・長浜市地域支援職員（市職員）和田展幸氏

会場

長浜まちづくりセンター

多目的ホール（2F）

<長浜市高田町 12-34 さざなみタウン内>

定員50名（先着順）

事前申込み必要

【コロナ対策について】

- ・受付までに、手指消毒と体温計測をお願いします。体調の悪い方は、あらかじめお申し出ください。
- ・受付で、お名前、ご住所の確認をさせていただきます。
- ・マスクをご着用のうえご入室ください。
- ・会場では、ソーシャルディスタンスを保ってください。

お問い合わせ・申し込み

長浜地区地域づくり連合会（長浜まちづくりセンター内）TEL：64-2753 Mail：ntd.rengoukai@gmail.com



▲ 昭和 30 年後半の米川の風景

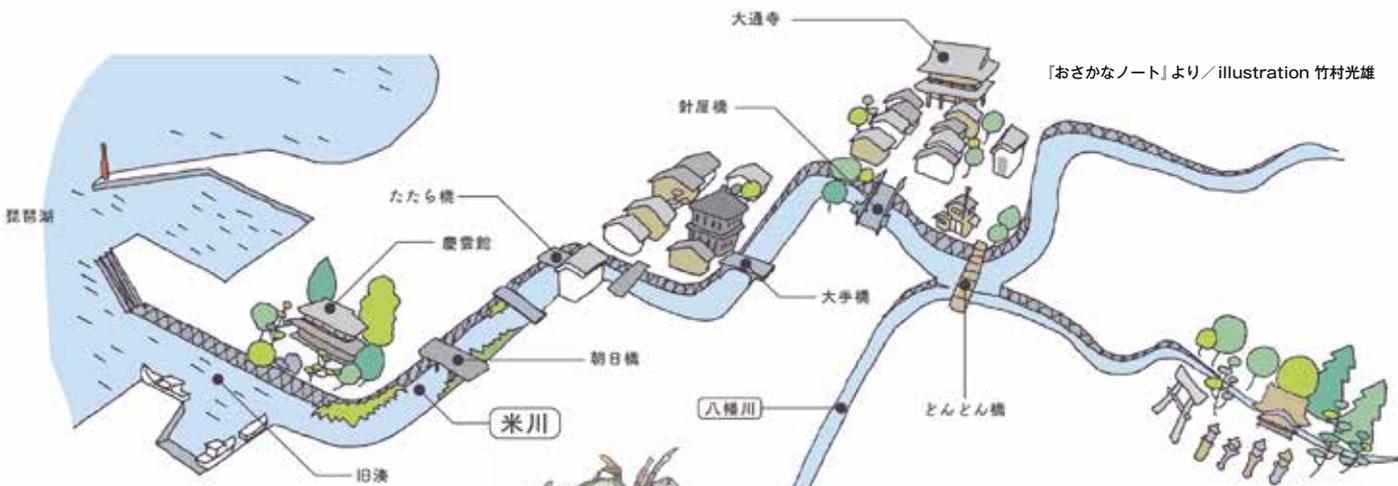
どんどん橋から西を見たところ。川で洗濯する人の姿も見られます。
〔み～な〕 87 号から掲載

米川って？

米 川を美しくしようと、沿川自治会による一斉清掃や「米川で蛍を愛でる会」による蛍の保全活動が、続けられています。

このように、私たちの暮らしと深く結びつき、古くは、舟運の水路、野菜などを洗う水場、子どもたちの遊び場でした。また、川沿いには、神社や地藏堂、曳山山蔵などが点在し、春は、桜や木蓮の花が咲き、新緑が映え、夏は、蛍が飛びかい、小鮎が川藻を群泳し、秋には紅葉が水面に舞い落ち、そして、冬には雪が舞い散ります。私たちの暮らしにうるおいとやすらぎをもたらす“大切な財産”なのです。

一方、度重なる洪水に、沿川自治会等の県への積極的な要望で、遊水池整備など浸水対策も進みつつあります。



『おさかなノート』より / illustration 竹村光雄

米川を活かした いろいろなまちづくり活動！

米 川は、長年、私たちの近くにありながら、その魅力にすら気づかれない存在となっていました。昨今では、鮎などが遡上する清らかな水環境が蘇ってきています。こうしたなか、地域の方々が川の魅力を再発見し、誇りとし、川とともにある暮らし、水辺の自然再生、来街者への魅力づくりなど、この資源を生かした「米川・かわまちづくり」を推進しようとしています。

今年度は、地域の方々に米川に関心を深めていただけるよう、川歩きや川掃除、そして、子どもらに、川床遊び、灯ろう流しなどのイベントが実施されました。コロナの影響もありましたが、幸い、滋賀県立大学生との新鮮な出会いもあり、今回のフォーラムを通じて、新たな取り組みへとつなげられると思っています。



▲ 『おさかなノート』

米川に生息する生き物を解説した冊子。子どもにもわかりやすく、手書きのイラストで詳しく紹介しています。(Produce: 湖北の暮らし案内所 どんどん)



令和元年 8月 川あるき&河川清掃

令和元年 12月 ワークショップ

令和2年 5月 米川・かわまちづくりがスタート 川床づくり体験

令和2年 6月 川あるき&河川掃除 川床で遊ぼう

令和2年 8月 とうろう流し (Nagahama Art Labo+どんどん)

令和2年 10月 お魚を学ぼう (日本釣振興会ほか)

